

今回のトレーニングレポート通信は 服薬支援についての事例です！

No.3
2022年7月号

事例①：術前中止薬についての報告

84歳 男性 内科

エリキュース®錠5mg	1回1錠	1日2回	朝夕食後
ロスバスタチンOD錠2.5mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ラベプラゾール錠10mg	1回1錠	1日1回	朝食後
メインテート®錠0.625mg	1回2錠	1日1回	朝食後
アムロジピンOD錠5mg	1回1錠	1日1回	夕食後
オルメサルタンOD錠20mg	1回1錠	1日1回	夕食後

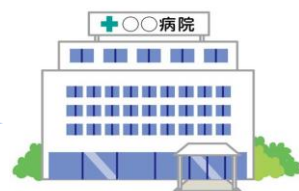
一包化

👉〇月〇日手術があり、エリキュース®錠5mgの休薬指示があるが、手術前中止薬のエリキュース®錠5mgが一包化となっている。

報告 内容	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー等)
	☐ 服薬状況 ☐ 継続の必要性が乏しい薬剤 ☐ 副作用(重篤でないもの)
	☐ 経口抗がん剤 ☐ 手技：自己注射 ☐ 手技：吸入薬
	☐ オピオイド ☒ その他 (術前中止薬について)
情報提供・提案事項	
「〇月〇日に手術をするため一包化の中から血液サラサラの薬を3日分抜いて欲しい」と依頼を受け、医師からの同意書に基づき、以下の通り一包化を作成しました。 エリキュース®錠5mgを抜き一包化（手術までの朝4日分、夕2日分）に「内科」と印字。他の一包化と区別をするため、日付を記入し、不要なエリキュース®錠5mgは薬局で破棄しました。患者さんの理解は良好です。入院時はよろしくお願いいたします。	

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテ記載で主治医へ報告しました。



👉その後

日付通り一包化薬剤を服用しており、休薬できていたことを、病棟薬剤師が入院時に確認。予定通り手術が行われ、術後、エリキュース®錠5mgが再開となり退院。

抗血栓薬の休薬忘れにより手術が延期になる場合があります。患者さんの理解度に応じて休薬できるように服薬支援を行い、休薬忘れを防いだ報告でした。

事例②：用法変更の提案・服薬支援の報告

77歳 女性

・内科

オルメサルタンOD錠2mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ピタバスタチンOD錠2mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ランソプラゾールOD錠15mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ビソプロロールフマル酸錠2.5mg	1回0.5錠	1日1回	朝食後
トラセミドOD錠4mg	1回1錠	1日1回	朝食後
フォシーガ®錠5mg	1回1錠	1日1回	朝食後
リクシアナ®OD錠60mg	1回1錠	1日1回	朝食後
パルモディア®錠0.1mg	1回1錠	1日2回	朝・夕食後

2科合わせて
一包化

・脳神経内科

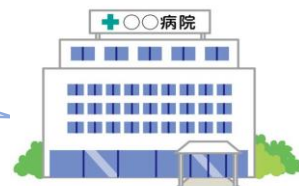
メマンチン®OD錠20mg	1回1錠	1日1回	朝食後
---------------	------	------	-----

👉 服薬カレンダーに薬をセットし服薬支援を行っているが
飲み忘れが多く、朝食後1回のみの服用へ処方変更を提案。

報告内容	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー等) ☒ 服薬状況 ☐ 経口抗がん剤 ☐ オピオイド	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤 ☐ 手技：自己注射 ☒ その他 (外来服薬支援について)	☐ 副作用(重篤でないもの) ☐ 手技：吸入薬
	情報提供・提案事項 以前より残薬が多く、服薬カレンダーを利用し2週間ごとに外来服薬支援を行っています。服薬カレンダーを利用していますが、飲み忘れが多く、パルモディア®錠を朝食後のみの薬剤へ変更していただけないでしょうか。ご検討よろしくお願ひします。来月からは毎日デイサービスに通所予定で服薬介助もあるため、朝食後のみの薬剤へ変更することでアドヒアランスは向上すると思われます。		

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。
主治医へ報告し、外来服薬支援料算定が了承されました。



👉 報告後の受診時
パルモディア®錠は中止。その他の薬剤、朝食後1回の服用で継続となった。
(パルモディア®錠を中止することにより、TGやコレステロール値の変動が予想されるが、
受診時に検査値ニタリングを行い、対応。)

用法変更の提案によって処方に変更となり、アドヒアランスの改善が期待できる報告でした。
一包化やお薬カレンダーを利用し、服薬支援を行うことで外来服薬支援料を算定できる場合があります。急がない場合はトレーシングレポートを活用して下さい。

事例③：入院前の服薬状況の情報提供

80歳 女性

かかりつけ医院

・オメプラール®錠10mg	1回1錠	1日1回	朝食後	} 一包化
・ビペリデン塩酸塩錠1mg	1回1錠	1日1回	朝食後	
・デパス®錠0.5mg	1回1錠	1日2回	朝・夕食後	

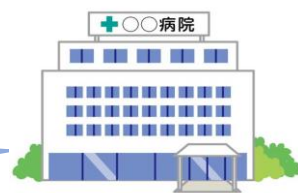
👉 整形外科の手術目的で入院予定。

デパス®錠の副作用が発現し、用法を変更して服用中。

報告内容	☐ 継続の必要性が乏しい薬剤についての情報提供(ポリファーマシー等)
	☒ 服薬状況 ☐ 継続の必要性が乏しい薬剤 ☒ 副作用(重篤でないもの)
	☐ 経口抗がん剤 ☐ 手技：自己注射 ☐ 手技：吸入薬
	☐ オピオイド ☐ その他 ()
	情報提供・提案事項
	現在、他院にてデパス®錠0.5mgが朝・夕食後で処方されています。一包化の中に含まれており、指示通り服用すると日中に眠気が出たため、当薬局にてデパス®錠を一包化から外しました。自己調節できるよう対応し、基本は寝る前に服用しているようです。処方箋と異なる用法で服用されていますので、入院前に他院のお薬情報について情報提供させていただきます。 また、不安感から、入院後はデパス®錠は自己管理を希望されています。可能であれば入院時より対応をお願い致します。病棟薬剤師の方へ伝えていただければ幸いです。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、カルテに記載しました。また、病棟薬剤師にも伝えておきます。



👉 報告後の入院時

デパス®錠は一包化から除かれた状態で入院。

入院後は病棟薬剤師が病棟スタッフと話し合い、自己管理となった。

眠気などの副作用なく経過。

他院の処方変更や、入院前の患者さんの状態を情報提供して頂いたことで、入院後、迅速に対応することができた報告でした。